

# 一般質問の要旨



一般質問とは、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等をたずねるものです。

第2回定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。  
なお、※印の用語は4・5面に解説を掲載しています。スマートフォンなどの端末で、タイトル内の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像をご覧いただけます。



## 高齢者等の就労支援について 審議会の情報公開について

田中 謙二(日本維新の会)

**問** 2050年には、就職氷河期世代と重なる団塊ジュニア世代が75歳以上となる。十分な年金受給額や老後資金がなく経済的に困窮し、働き続けなければならぬ高齢者の増加が懸念される。市とシルバー人材センターとの業務委託契約について問う。

**福祉参事** 会員への配分金は最低賃金を下回らない水準を勘案し設定。最低賃金引上げ等により、契約単価は5年前と比較し、平均でおおむね10%程度上昇。がんの罹患率は年齢とともに増加。中小企業では相談・支援体制が乏しいのが現実。長期療養者への就労支援を問う。

**福祉部長** がん相談支援センターで社会保険労務士による就労相談実施。市はがん相談サポーター事業で制度案内や相談を実施。介護と仕事の両立支援は困難で、介護離職が増加。ビジネスケアラーへの就労支援を問う。

**福祉参事** 調布ゆうあい福祉公社で社会福祉士等による相談支援実施。ケアラーサポートブック等作成し、支援情報を提供。また、市は介護教室や臨床心理士相談等を実施。多種多様なケアラーへの支援充実に努める。

**問** 特別報酬等審議会は市長や議員等の報酬等を審議する重要な機関だが、会議は非公開、



## スポーツ振興・小中学校老朽化対応・ 子ども食堂事業を問う

青山 誠(チャレンジ調布)

**問** 調布市スポーツ推進計画に掲げられた多くの目標を踏まえ、市におけるスポーツ振興の現状や課題について、認識は。

**市長** 20代から40代の週1回以上スポーツをする市民の割合は相対的に低い傾向。ライフステージに応じたスポーツ活動の推進が必要と認識。

**問** バスケケットボールなどを行うための体育室の抽せん倍率や使用率、回転率の緩和に対する取組の現状と課題の認識は。

**生文部長** 直前キャンセル等による回転率の低下が課題。公共施設や学校施設の活用をはじめ、都や民間事業者、大学等と連携し、環境整備に取り組み。

**問** B・M・Xをはじめとしたアーバンスポーツを行うための施設の整備について、現状と課題は。

**生文部長** 生活環境に配慮した適地の選定が課題。競技環境の整備について、多角的に検討。

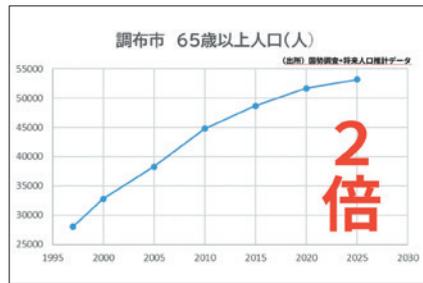
**問** 平成15・16年度の八雲台小学校の大規模修繕以降、小中学校でどのような改修をしたか。

**教育部長** 体育館の避難所機能整備や校舎増築など学校施設の整備、空調設備の整備等を実施。

**問** 内装改修なども含め、どのような考え方を持って、小中学校の老朽化対応と良好な学習環境の確保を行っているのか。



BMX競技で活躍する調布市民



配付資料も非公開である。他自治体では公開・傍聴可を原則とし、配付資料をHPで公開している事例が多く見られる。情報公開について市の見解は。

**総務部長** 委員同士の率直な意見交換や意思決定の中立性確保の観点から、原則会議は非公開。議事録は内容を委員に確認の上、審議会終了後に答申と併せ公開。会議資料の公開等については他自治体の運用等情報収集し検討。



## 環境教育と地域経済の 活性化について

松野 英夫(公明党)

**問** 21世紀を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要な意義を有している。市では、環境教育についてどのように取り組んでいるのか。

**教育部長** 市立学校で各教科等で課題設定し、クリーンプラザふじみの見学等の環境教育実施。

**問** 公共施設へのペットボトルキャップ分別回収ボックスの設置拡充が進められている。設置拠点の一つとして各学校に展開することで、環境教育の取組にもなるかと考えるが市の見解は。

**教育部長** 既に市庁舎等で分別回収したペットボトルキャップの再生利用を実施。児童・生徒が日常生活の中で主体的に環境学習に取り組める内容であると認識。今後、学校でも回収ができるよう、環境部門と調整。

**問** キャッシュレス決済普及促進に向け、市はどのように取り組んできたのか。

**副市長** 3年度から5年度に、事業者へのキャッシュレス決済導入支援や市民への普及を目的としたポイント還元事業を実施。

**問** キャッシュレス決済を支援するスマートフォン講習会などの対策は実施されているのか。

**産業部長** 公民館等での高齢者向けスマートフォン講習会等に参加し、キャッシュレス決済に



## 調布の農の未来について 多角的に問う

磯邊 隆(調布ミライ政策会議)

**問** 昨今のニュースは米が話題の中心。高齢化や燃料・資材の高騰、異常気象等日本の農業の問題は悪化。市内農家の実情は。

**産業部長** 市内農家の多くは農業経営が小規模な状況。市民生活との調和や環境への配慮に大変苦慮していると認識。

**問** 姉妹都市の長野県木島平村では高齢化もあり、耕作放棄地も目立つ。援農協定の可能性は。

**産業部長** 村から要請なく援農協定の予定はないが、引き続き様々な取組により村と連携図る。

**問** 全国で米をはじめとした給食の食材が高騰。市における米飯給食の推進は。

**問** 市民意識向上のため、法制



市内に生息するゲンジボタルとカワナ



関する説明機会の増加に努めた。問 都は東京アプリ普及のため、一定の条件を満たした場合、7千円分のポイントを付与する事業を7年秋に実施予定。これを財源と捉え、市内経済の活性化に取り組みると考えるが見解は。

**産業部長** 今後、東京アプリに関する新たな取組が都から示された際、必要に応じて市内事業者や市民に対する情報提供に取り組んでいく。